

1 PFAS 汚染の実態解明と調査を！

横田基地の泡消火剤などが原因とされるPFAS 汚染。市所有井戸の水質検査も今年度から調査頻度が拡充されます。私たちの安全を守ると謳っている基地が私たちの命や健康を脅かしている、本末転倒です。横田基地や国に対して責任と対策をしっかりと求めていきます。

2 進めて大丈夫？GLP プロジェクト

昭島市での物流センター計画。出入するトラックの多くは立川を通る見込みで、渋滞の深刻化や、環境悪化を懸念しています。他の議員たちとも連携しながら、地元のためにできることを探っていきたいと思ひます。

3 歴史探訪、最初の砂川分水 取水口はどこ？

市民の方とともに、立川の歴史に関する各所を巡り、調査を進めています。砂川分水の取水口が、かつて稲荷橋の上手にあったというお話を伺い、実際にその場所に足を運びました。周囲の地形や痕跡を確認しながら、その存在を示す遺構や証拠を探りました。

4 砂川学習館が建替え完了！

砂川学習館の建替えが完了しました。砂川の歴史に関する展示も残すことができました。元砂川町役場としての面影を残し、砂川らしさを継承できたことは大変良かったと感じています。

5 競輪場のリニューアル 市民のための避難所にも

競輪場では、メインゲートから飲食コーナー、ステージに至るまで、大規模なリニューアルが行われました。また、災害発生時には帰宅困難者の滞在先や応援職員の受け入れ拠点等の機能とされましたが、この度、地元の要望もあり、市民も避難できるようになりました。平時には多くの方に親しまれ、いざという時には地域を支える拠点として役立つ施設となることを期待されます。

6 旧健康会館の今後

健康会館が閉館。当面は学童保育所として活用されます。これにより学童保育待機児童の解消を目指します。学童は暫定利用ですが、今後、更に市民にとって喜んでいただけるような活用の在り方を考えていきます。

7 二小の建替えが開始！

第二小学校の建替え事業が始まりました。校舎の取り壊しに先立ち「校舎にありがとうプロジェクト」として校舎へのペイントが施されるなど、二小の思い出を振り返るさまざまな企画が行われました。今回の建替えでは、「子どもたちが主役となる学びの場」をコンセプトに、校舎は3階建てのコンパクトな設計としながら、ワークスペース等を配置し、学びや多様な交流が生まれる環境が整備されます。さらに、学校・学童・児童館・地域が一体となった複合施設として、地域コミュニティの拠点機能も担う計画となっています。

8 客引き撲滅に向けて

立川駅南口周辺の客引き等に多くの不安の声が寄せられています。罰金や氏名公表等、罰則を課すことができる条例があるものの実績はなし。立川でも思い切った対策を実施し、駅前治安の向上に努めるよう、求めていきます。

古民家園は中規模改修により、6月～来年3月まで休園です。

根川緑道の水(大池以下の桜並木)が枯れないか心配状況を注視しています...

残堀川で子どもたちと環境学習「水辺の楽校」

旧多摩川小学校跡地を民間公募で再活用へ

立川がドクエの地図みたいになってる！

立川市議会議員 山本ようすけ 緑たちかわニュース No.18

発行日：2026年3月28日 発行・連絡先：〒190-0011 立川市高松町2丁目19-1 TEL：080-5650-7833 Email：t.yamayu@gmail.com

市政の世界へ、ようこそ！ 「わかりにくい」「難しい」と思われがちな市政を、「もっと楽しく、もっと身近に感じてもらいたい！」 「アニメとマンガの街『立川』をもっと押し出したい！」 「若い人たちに読んでもらいたい！」 「ゲームの世界に逃避したい...」 そんな思いで、この“ゲーム風議会報告”をお届けしています。これまでの取り組みと、これからの立川の変化を、ぜひ一緒に体験してみてください。少しでも市政に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。

立憲ネット緑たちかわ 冒険の仲間(会派) ※Lv.は年齢です 山本は4人の仲間たちとチーム(会派)を組んで活動しています。 Lv.67:立憲 稲橋ゆみ子 Lv.51:立憲 わたなべ忠司 Lv.38:立憲 原ゆき Lv.55:生活者ネットワーク あべみさ Lv.35:緑の党 山本洋輔

山本ようすけの思い 不公正や不平等と たたかう 立川市民の暮らしを ぼうぎょ 政治は生活を良くする どうぐ 日々の暮らしは政治から にげられない！

10 居住相談窓口の拡充が実現 市役所で毎週木曜日に実施されている居住相談窓口が拡充され、来所が難しい方への訪問相談が可能となりました。予算特別委員会での質疑に対し、市からはこの相談窓口について「全国でもトップクラスと自負している」との答弁がありました。私も周辺自治体の状況と比較して、その評価は妥当だと感じています。今後も、この居住相談窓口が多くの方々の支えとなるよう、さらなる充実が図られることを期待しています。

9 歴史民俗資料館や史料 今後を考える 多くの市民の方から史料を寄贈いただいていることもあり、収納スペースもかなり逼迫しています。資料館自体の在り方と共に、史料保存の方向性を策定していくよう、求めています。今後の歴史民俗資料館も、在り方を検討する時期に差し掛かっています。

